

ミニデイサービス便り

思わぬ効用

まごころミニデイではリズムでリハビリが定着し既に、「まごころ楽団」は成り立っていると利用者さんもスタッフも自負している。

次なる楽しみをと考えて、おもむろに問いかけた。

「皆さんねえ、お芝居しませんか」「芝居？」

忠臣蔵の浅野内匠頭や大石内蔵助の役をみんなで演ずることを話してみた。太鼓打ちが上手なOさんに討ち入りの陣太鼓を打つ内蔵助の役をどうかとすすめてみた。「ぴったりと思うけど、あの長谷川一夫の“おのおのがた”ってやるのよ」

話に聞き入っていた利用者の皆さん、さかんに尻込みされるが、目付きからひょっとしたら脈があると思った。

無理強いはいけないので、今日はここまでと次回に持ち越した。それから毎回話をし、3回目に仮台本を作っていく、役者の口調に似せて読んでみた。

試しにと、しゅしゅ立ち稽古になった。

ところが、以外に照れながらも役になりきって真剣、皆さん楽しそうで、とてもいい感じだった。

次の日、利用者さんから「息子に、歩くのもままならぬのに芝居が出来るのか、と言われ、私は、そのために今歩く訓練をしてるのよ、と言ったの。」と思わぬことを聞かされた。

みんなで楽しく作り上げるプロセスを喜びにしたいと考えていた。

リハビリにつながるとは思ってもいなかったし、むしろ、歩けない方は座ったままでいいと考えていたくらいだったから、とても嬉しかった。

この方のためにも是非芝居の実現をと思っているが、利用者さんは気分がいつも様ではないし、様々な状況がある。駄目かもしれない。

でも、ハンディを乗り越えて、皆にふさわしい役割を見つけ、芝居がみんなで出来るよう祈りたい。

☆11月のミニデイサービス

宮地公民館(龍岡工軒の南)11/4,18 事務所11/11,25

「まごころ」では今までの 助け合いの活動にプラス 介護保険事業にも 一部参画します

今、「まごころ」をご利用下さっている皆様に、来年4月から始まります介護保険になっても、ご迷惑をおかけしないように準備いたしました。よろしくお願い致します。

愛知県から次のように指定通知をいただきました。

指定通知書

介護保険法第41条に基づき、介護保険の事業者として指定したので通知します。

申請者名・・・特定非営利活動法人
尾張地域福祉を考える会まごころ
事業所名・・・まごころ訪問介護事業所
所在地・・・愛知県一宮市貴船2丁目11-17
事業所番号・・・2372200150
指定年月日・・・平成11年9月28日
サービス種類・・・訪問介護

「まごころ」の活動趣旨は今までと何ら変わることはありません。

助け合いの活動と介護保険事業との車の両輪で介護の問題を考えて参りたいと思っています。

介護保険が本当に利用者本位なものになっていくよう、安心の窓口としての役割を担っていきたくと考えているからです。

それには、介護保険にかかわらなければ、その内容がよく分からないという結論になりました。

会員の皆様にはご理解をいただき、今後ともなお一層のご支援下さいますよう、よろしくお願い致します。

◆今月のケア活動から◆

介護の悩みや不安は様々で
一様なサービスでは補えないことを
実感させられるケア依頼が目立ちました

- ・手助けは突然に、時間や曜日を選ばない
(夕方に今から、朝に今日から、午後今夜から)
- ・介護の状態は毎日変化(短時間でも毎日の手助けを)
- ・病弱な介護者が重度な介護を(介護者のSSSに緊急対応)
- ・夜のケアが必要に(介護者の急な病気で)
- ・介護の発想変えられないで疲労こんぱい
(サービス利用の掘り起こし、啓蒙啓発活動の必要性)
- ・介護保険になる前に基盤整備がぜひ必要
(今、行政の対応がされていない夜のケア、不十分な対応の感染症の方への介護、急な介護支援依頼への対応など、これらを介護保険になる前に、行政福祉として今からきちんと対応をしてほしいと思います)



チェック介護保険

この期に及んで二転三転している介護保険。そのゆくすえは定かではないようですが、いいかげんにしてもらいたいというのが正直なところです。既に介護保険は混乱しながらも事実上スタートしています。

不安をかかえての訪問調査員。資格主義で、研修がじゅうぶん積まれていないようです。今後の大事なケアプランを作成するケアマネージャー(訪問調査員と兼務)さんからも不安な言葉が聞かれます。

今は、これらの質の確保にもっと真剣に目を向け、介護の社会化という基本理念に基づいてスタートする介護保険の質についてよりよい議論をする時でしょう。